

フィロソフィー

～マグネットホスピタルを目指して～

住民監視のもと公明正大かつ安全で信頼される病院として常に向上心を持って運営します。「この病院に来て良かった」と言われる病院作りを目指します。職員はこの病院で働くことを誇りとし、自らが主人公として、また、信頼されるスタッフとして働いていることを自覚しています。そのために、人として、医療者として、当院職員として以下の3つを追求しています。

第一部 人間として

第二部 信頼される医療者として

第三部 「この病院に来てよかった」と言われる湘南鎌倉総合病院職員として

第一部 人間として

1章 正しい生き方・考え方

誠実に人を思いやる心・弱者を置き去りにしない心・間違いを謙虚に認める心・立場の違いを思いやる心。

2章 成功方程式

成功とは利他の心で求めること・成功とは熱意・成功とは道筋・成功とは自らの能力の向上である。

3章 向上心

向上心とはライセンスなど形あるものを得ることだけではない。向上心は日常にある。向上心は実行力にある。

4章 問題の本質を見抜く力

常に問題の上流にある本質的な事象に意識を向けよう。些末な問題より大きな本質を議論しよう。

5章 正しいことを伝える勇気

正しいと信ずることは、正しい時に・正しい表現で・正しい人に対して、しっかりとと言える勇気を持つとう。

第二部 信頼される医療者として

1章 一人一人が湘南鎌倉総合病院の大切なスタッフである。全員協力・多職種連携運営
医療は医師だけでは成り立たない。看護師・コメディカル・事務職員など多職種の全員の力で成し遂げられるものである。自らがこの病院を預かりミッションを成し遂げるための主人公であることを自覚しよう。

2章 コスト管理意識を高める
わたしはこの働きで幾らを得ることができるか、幾らを使っているかを意識すること。売り上げを最大に経費を最小にする努力を怠ってはならない。ただし、質の向上のために小心であってはいけない。数字で語るができるよう大胆にして細心の注意を払って努力すべし。

3章 チャレンジ精神
何事も否定しない好奇心を持つこと。何事も自ら考え、まずは自ら実行して問題を解決すること。診療報酬に無くても、自らの実績で将来に診療報酬を勝ち取る勇気とチャレンジ精神を持つこと。

4章 世にもものを問う姿勢
医学の進歩は日進月歩である。自ら行う医療行為や医学的発見が正しいのかどうか常に世にもものを問う姿勢を持つこと。学会発表や論文執筆で第三者の意見を聞く努力をすること。論文を書く意味はここにある。

5章 パッション・ミッション・ラブ (Passion Mission Love) でやる
これは自分の仕事ではないと考えず、皆で心をつにして自らできることは率先垂範で実行しよう。何より自分のこの行動で患者さんが喜び、医療が良い方向に向かうと考えたら情熱と使命感を持ってやろう。大きな愛を持って行動しよう。

第三部 「この病院に来て良かった」と言われる湘南鎌倉総合病院の職員として

1章 やさしい病院作り

職員自ら当院を訪れる全ての人々への対応として優しい・易しい・親切的な対応を行おう。
いろいろな「やさしい」を考えよう。

2章 弱者を置き去りにせず先進先端医療を追求し質の向上に努めよう

常に質の向上に努めよう。弱者が置き去りにされていないか360度、全方向から考えよう。
新しい医療技術を常に求めよう。ひとの穏やかなエンディングも同様に求めよう。
生命予後だけではなくウェルビーイングな健康寿命の延長を追求しよう。

3章 医療者の目線と患者さんの目線を近づけよう

医療者は奢ることなく、また独断と偏見に溺れることなく、常に患者さんが何を求めているか、よく聴き共に答えを求めあって、前へ進もう。医療技術の過信は禁物である。

参考図書

- Kingsley Ward: ビジネスマンの父より息子への30通の手紙より引用一部改変追加
- 曾野綾子 人間の基本
- コリン・パウエル リーダーを目指す人の心得
- 渋沢栄一 論語と算盤
- 大西康之 稲盛和夫 最後の闘い
- 佐藤智恵 スタンフォードでいちばん人気の授業
- 松下幸之助 道をひらく
- 加藤仁 宿澤弘朗運を支配した男
- 五木寛之 人間の覚悟
- JAL HPより参照
- SONY HPより参照 他